



仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いちゃいました!



## 株式会社菅与組

今回サキホコレ学園Eチームが訪れたのは、大正10年創業の菅与組。道路や橋をはじめとした社会インフラの整備を手がける建設会社です。ここで働く先輩はどんな仕事をして、どんなライフスタイルを送っているのでしょうか。話を聞くため、さっそく会社の中へ突撃します!

今回のパイセン



松田さん

Eチーム

本日はよろしくお祈いします!



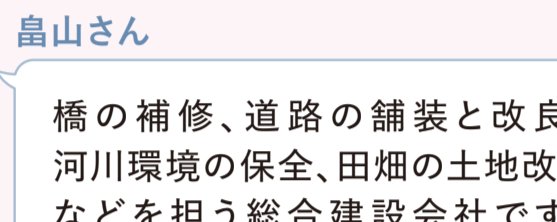
畠山さん

専務取締役の畠山です。こちらこそよろしくお祈いします。



松田さん

営業部の松田です。よろしくお祈いします。



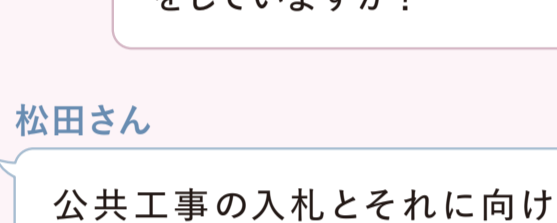
Eチーム

最初に、菅与組のことを私たちに教えてください。



畠山さん

橋の補修、道路の舗装と改良、河川環境の保全、田畑の土地改良などを担う総合建設会社です。大正10年にこの地で創業し、以来、地域に根ざして事業を続けてきました。おかげさまで昨年、創業100周年を迎えました。



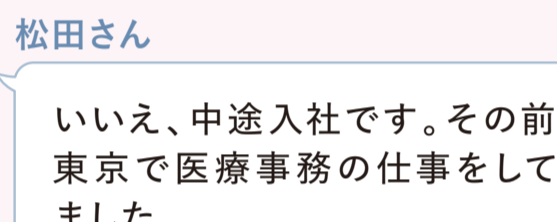
Eチーム

松田さんは、ここでどんな仕事をしていますか?



松田さん

公共工事の入札とそれに向けた準備、さまざまな書類のチェックや整理を担当しています。



Eチーム

松田さんは新卒入社ですか?

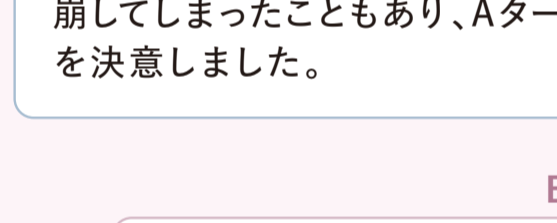


松田さん

いいえ、中途入社です。その前は東京で医療事務の仕事をしていました。

Eチーム

東京で働いていたんですね。



松田さん

出身は井川町なんですけど、仙台の大学に進学して、就職のときにさらに南下して。当時は地方での就職が少し厳しい時代だったので、求人の多かった首都圏に流れた感じですね。秋田に戻ってきたのは4年前です。ちょっと体調を崩してしまったこともあり、Aターンを決意しました。

Eチーム

東京から秋田に戻って良かった点と困った点を教えてください。

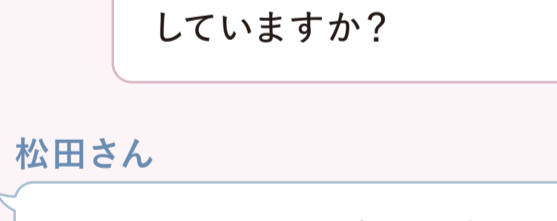


松田さん

秋田は自分が生まれ育った場所なので、やっぱり落ち着きますね。ただ、電車で移動するのにすっかり慣れていたので、どこへ行くにも車を運転しなければならぬのは少し困りました(笑)

Eチーム

休日はどのように使っていますか?



松田さん

インドア派なので家でお茶を飲みながら映画を見たり、読書をしたりして過ごしています。

Eチーム

ストレスがたまったときはどうしていますか?



松田さん

秋田のおいしいご飯を食べて、ぐっすり寝ます。だけど東京で働いていた頃に比べると、今はそんなにストレスを感じる事がなくなりました。

Eチーム

御社の女性活躍推進に向けた取り組みが知りたいです。

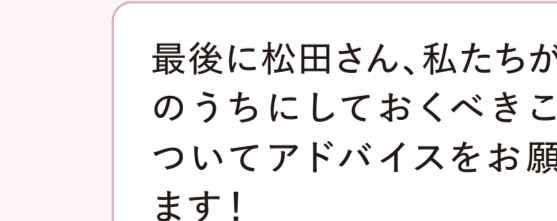


畠山さん

更衣室やトイレといった社内の環境整備や資格取得支援、産休、育休、時短勤務をはじめとした仕事と育児・家庭との両立支援などを。数年前から採用にも力を入れていて、少しずつですが女性社員が増えてきました。その中には工事部志望で入社し、現場で頑張っている女性もいます。

Eチーム

そうした会社の取り組みを松田さんはどう見えていますか?



松田さん

安心して長く働ける環境が整ってきていると感じています。歴史的に男性主体だった職場を変えるのは苦労も多いはずなのに、会社がどんどん女性活躍推進に向けた取り組みを進めてくれて、とてもありがたいです。

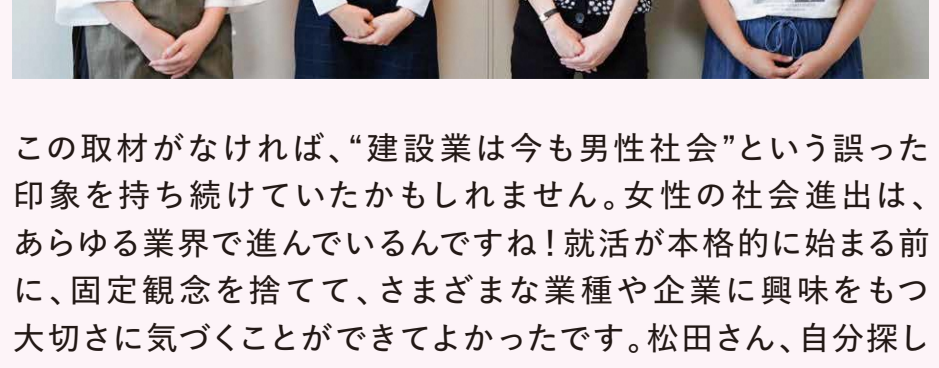
Eチーム

最後に松田さん、私たちが学生のうちにしておくべきことについてアドバイスをお願いします!



松田さん

就職してから「この仕事、あるいは会社が自分に向いていなかった!」と後悔することがないよう、自分がどんな人で何に向いているかを見つけておいた方がいいかもしれませんね。学生のうちは、失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジしてみるべきだと思いますよ。



この取材がなければ、「建設業は今も男性社会」という誤った印象を持ち続けていたかもしれません。女性の社会進出は、あらゆる業界で進んでいるんですね!就活が本格的に始まる前に、固定観念を捨てて、さまざまな業種や企業に興味をもつ大切さに気づくことができてよかったです。松田さん、自分探し頑張ってみますね!